

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

＜研究主題＞

学習に向かう意識を高める指導法の工夫・改善
～「ぼくにもできた」から「そうだ、勉強しよう」へ～

研究主題実現の方針として、「基礎学力の定着」と「家庭学習の習慣化」を目指すために、下記の教育実践を行う。

- ①チャレンジノートとチャレンジカップの実施
→ 学習実績の可視化・成績優秀者の表彰を通じた自主学習のきっかけづくり
- ②「授業マネジメント」と「基礎アップ」を意識した「授業公開」の実施
→ 参観感想のフィードバック・よい授業のアンケートを活用した授業実践
- ③「大谷口中 授業がわかる 3つの約束」の掲示・実践
→ 授業規律を生徒・教職員がいつでも意識できる工夫

＜本年度の学力向上策＞

- ①平成27年度より全校で実施してきた「チャレンジノート（家庭学習）とチャレンジカップ」を継続させ、「家庭学習の習慣化」を目指す。
また、生徒の学習意欲や達成感・成就感を向上させるため、家庭学習の実績を可視化し、年5回実施のチャレンジカップで成績優秀者を表彰して学習に対する内発的動機づけを行う。
- ②平成27年度から取り組んでいる「公開授業を見合う」ことを継続し、「学習に向かう意識を高める授業」ができてきているのか、という「授業マネジメント」の観点から教科や学年の枠を超えてお互いの授業を見合い、参観した感想を授業者へフィードバックする。
また、年2回実施の「よい授業アンケート」の結果を活用し、授業実践の工夫改善を行う。
- ③本校の実態として、3校の小学校から生徒が入学するため、毎年新入生の授業が開始される度にチャイム着席等の授業規律を整備して徹底させることが課題となる。大谷口地区の「小・中一貫教育」においても「時間を守る指導」が重点目標となっている。
そのため、昨年度に全教職員で話し合いを行って作成した『授業がわかる 3つの約束』を特別教室も含む全教室に継続して掲示し、生徒・教職員がいつでも授業規律を意識できる工夫を行う。

以上の取組における成果と課題を「平成30年度の学校評価の結果」と「教職員からの振り返り」、「市学習状況調査の結果」から考察する。

授業がわかる 3つの約束



準備・着席 チャイム前